

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の現状 (DO)	事務事業名	No. 630202	みよし土地改良区補助事業				主管課名	産業課			
	この事務事業 の位置	政策	魅力ある活力とにぎわいのまち				課長名	久野 秀夫			
		施策	効率的で安定的な農業を育むまち								
		基本事業	農業生産基盤の整備								
(1)事業の概要											
みよし土地改良区運営事務事業補助						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
<ul style="list-style-type: none"> 事務所運営事業 4,000千円以内 事務所経費・役員経費・臨時職員経費 事務事業補助 給与補助(副理事長・局長・事務吏員) 補助率 50% 限度額 4,000千円以内 						名称		単位			
						請求件数		件			
みよし土地改良事業等補助金交付要綱第6条 (土地改良事業の推進に必要な事業 3.土地改良区運営事務)						その指標					
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		みよし土地改良区の事務事業量を把握し、運営に必要な人件費等を検討しみよし土地改良区に対し必要な補助金の支払事務を行った。									
24年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)					
みよし土地改良区						名称		単位			
						土地改良区数		区			
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)					
運営事務を行う。						名称		単位			
						現在職員数 / 必要な職員数		%			
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)					
農作業効率化のため圃場整備を進め、土地改良施設の保全管理を行う。						名称		単位			
						農地整備率		%			
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
(5)の活動指標		件	5	4							
(6)の対象指標		区	1	1							
(7)の成果指標		%	100	100							
(8)の結果の成果指標		%	77.8	77.8							
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	06	項	01	目 05
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単位	4,626	4,645	0	0	0	0			
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0			
		県支出金	千円	0	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0	0			
		一般財源	千円	4,626	4,645	0	0	0	0		
人件費 B		千円	1,844	1,879	0	0	0	0			
正職員従事時間×人数		時間×人	250 × 2	250 × 2	×	×	×	×			
正職員以外の人件費		千円									
その他費用 C		千円									
トータルコスト A+B+C		千円	6,470	6,524	0	0	0	0			
単位あたりコスト (トータルコスト / (6)の対象指標)		千円/ 区	6,470	6,524							
		千円/									
		千円/									

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	630202	みよし土地改良区補助事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 土地改良区の独立に伴い平成8年頃 から			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 農業基盤整備に伴い発生する土地改良資産・施設の適正な運営及び維持管理を行うため、この事務事業を開始したが、独自の財源確保の目処が立ったため、平成24年度より廃止。			
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している → 変化し農家以外の土地改良資産・施設利用者が年々増加しており、様々な問題が増加している。			

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 →	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
		自治事務 →	根拠法令	土地改良法	この事務を行う根拠又は理由
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない →	理由		みよし市内のため池、農道や排水路等の適正な管理を行うためにこの事業は必要である。
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 できない → 縮小	内容		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 できない → 拡充 絞込み	内容		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある → 影響はない	理由又は内容		市民生活の一部として土地改良施設(農道・排水路)が必要で、維持管理補修費が必要。
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない	理由又は内容		一定の成果は達成されており維持する。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある → 庁内事業 ない → 庁外事業	類似事業名	類似事業との再編の可能性	ある → 内容 ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある → ない	内容		みよし土地改良区の自己財源による自立
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある → ない	内容		
(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 ない → 検討が必要 受益者がいない	内容			

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	削減	事業費の方向性	減額	成果の方向性	低下
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	近代的な農村建設と土地改良組織の幅広い活動の支援を目的に、継続的な補助を行うことで組織も充実した。その後、土地改良区独自の歳入確保の目処が立ったため、平成24年度から補助の廃止とし、自立した法人となった。					